

暁星小学校

【理事長】青木 勲

【校長】吉川 直剛

〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-1-13 TEL 03-3261-1510 <https://www.gyosei-e.ed.jp/>

【交通】JR中央・総武線飯田橋駅、東京メトロ東西線・有楽町線・南北線・都営大江戸線飯田橋駅、東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅

家庭的な雰囲気で、“子どもの心を豊かにする”教育を実践

「感じる心」「考える力」「実行する力」を養う

暁星小学校が明治21年の創立以来一貫して掲げてきた教育理念は、キリスト教の精神を基礎として、「自分を大切に」「他者を大切に」「神を大切に」心を育て、十全な人格を形成することです。

これからの社会は、さまざまな考え方や個性・能力をもった人たちが、ともに学び合い、支え合い、協力し合いながら共生していく考え、生き方が大切です。それを支える「感じる心」（想像力と感性）、「考える力」（思考力と創造性）、「実行する力」（活力と実践力）を育てること、基盤となる基礎学力をしっかりとつけること、それが暁星の目指す教育です。

本校には「困苦と欠乏に耐え、進んで鍛錬の道を選ぶ、気力のある少年以外はこの門をくぐってはならない」という言葉が伝えられています。この精神を現代にふさわしい形でとらえ、望ましい形で「鍛える教育」を大切にしていきます。そして、次世代を担うリーダーにふさわしい「精神性と社会性」を培っていきます。

キリスト教精神を基礎に、十全な人格を形成

本校は、キリスト教精神をその教育信念の根底に置き、家庭的な雰囲気作り、児童の人格を尊重、賢明なる時代への適応を建学の精神として、児童の人間形成に力を注ぎます。

国際的視野を養い、児童の人格を高める教育

宗教教育 ●宗教的情操と道徳性を育成するため、カトリック精神に基づく宗教教育を施し、正課としての宗教の授業と課外での宗教活動を行っています。

外国語教育 ●外国語の早期教育を図ることによって、外国語に対しての親しみと共に楽しみながら学べるようにしています。それにより、国際的視野と感覚を養うことを目標としています。

生活指導 ●集団生活を通して社会性を培い、児童の人格を高めるために、生活指導を行っています。

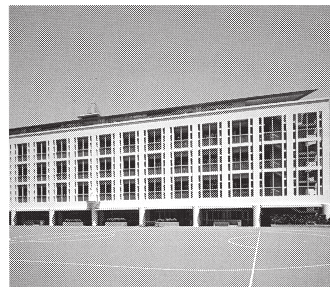
上級学校に進むには

進学テストを含め、総合的な評価で、系列中学校への進学者が決定されます。

生活指導と合宿教育を通して児童の人格の形成に努めています

校長 吉川 直剛

本校は、知的教育のみに偏ることなく、キリスト教精神に基づいた生活面での指導にも心がけています。そのため、宗教教育、外国語教育と並行して、那須の施設を利用して自然と触れ合う合宿教育、宗教的情操を培うのに役立つ聖歌隊、心身を鍛えるサッカーなどに力を入れています。これらすべての教育活動を通して、調和ある人格の形成に努めています。



沿革

明治21年、G・J・シャミニード神父によって創立されたカトリック修道会「マリア会」会員5名が来日。小規模な学校を開き、暁星学校と名づける。明治23年、暁星小学校と改称。明治32年に中学校、昭和23年に高等学校、昭和44年には幼稚園の設立が認可され、幼・小・中・高一貫教育体制が整う。平成11年、小学校校舎の新築工事竣工。令和5年、創立135周年を迎えた。

2027年度募集要項

募集人員：男子120人（含内部進学40人）

出願期間：10月1～2日（オンライン出願）

考査料：25,000円

選考日：一次 11月2日

二次 11月4日

（二次試験は、一次試験合格者のみ受験し、保護者の面接も実施）

選考内容：ペーパー試験・実技・面接ほか

合格発表：一次 11月3日（Web）

二次 11月5日（Web）

【かかる費用】

入学金：300,000円

施設費：125,000円

維持費：204,000円

授業料：約480,000円

※ほかに、後援会・校友会費などがある。

初年度納入金総計：約1,266,000円

併設中学進学状況

◆暁星中学校

※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

データパック

◆児童711人／教員49人

◆26年度応募者数：483人

◆合格者数：120人

【併設校】

○暁星幼稚園

○暁星中学校・高等学校